

地域づくりにおける  
ネットワーク構築を目的とした  
住民グループの構造と機能に関する研究  
—長野県富士見町御射山神戸区を事例として—

水資源計画学研究室

阿久澤 沙織

御射山神戸区 山ノ神溜池

# 研究の背景

高度経済成長



少子・高齢化，過疎化，兼業化

総じて停滞傾向にある

何らかの住民組織を介した関わり方が多いのでは？

住民主体の地域づくりが注目

【地域づくりの主体としての住民組織】

これまで・・・

- 地域づくり推進主体として新たに設置  
(〇〇協議会,むらづくり委員会など)

新規設立組織

近年・・・

- ボランティア・アソシエーション  
(NPO,ボランティア・グループ(「〇〇の会」))

新たな地域づくりの主体として注目

# 既往の研究

【地域づくりボランティア・アソシエーションを対象とした研究】

## ■活動実態と連携から特徴を把握

- ・既存の集落内組織・行政との関わりなどから分類  
(藤本ら・2000, 安里ら・2003など)
- ・コミュニティ団体とNPO法人の比較と特徴(本庄ら・2002)

## ■地域づくりを進めていく上での組織課題等の把握(湯沢ら・1998, 中村ら・2000)

小規模で組織化が進んでいない、地域住民によるグループでも地域において何らかの役割を担っていると考えられる事例があった。

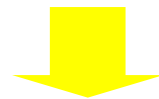
→ 住民グループ

規模が**大きい**・**組織化**された組織が対象、**量的把握**・**類型化**したものが多  
地域における**組織の機能**に言及したものは少ない

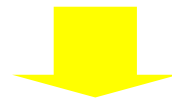
# 研究の目的

地域づくり活動を行っている「住民グループ」と「新規設立組織」を対象として

①「住民グループ」と「新規設立組織」の実態(組織体制・運営体制・活動実態・他主体との関わり)を把握する

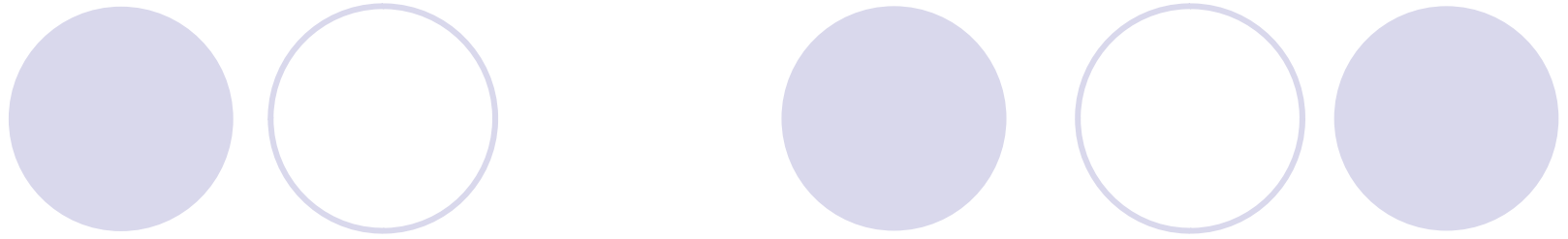


②両組織・グループにおける特徴・成果・課題の把握



③両組織・グループの比較検討を行い、「住民グループ」が地域において果たしている機能・課題をより明確にとらえる

※本発表では、「新規設立組織」の課題について省略する



# 「住民グループ」について

# 調査対象「住民グループ」

## ステップアップゼミ(2000年4月～)

規約 (2004年4月適用)

第3条(目的)「まちづくりのネットワークを構築することに関する事業を行い、…(中略)…豊かで充実した社会づくりに寄与することを目的とする。」

第4条(会員)「まちづくりに関する事業に関心があり、活動に参加できるものは自由に入会できる。」

活動範囲 **長野県富士見町** (目的対象)

**御射山神戸区** (主な実践活動範囲)



- ・第二種兼業・中間農業地域
- ・都市近郊地域

	人口	世帯数
富士見町	15, 529人	5, 480世帯
御射山神戸区	1, 024人	456世帯

(2005年現在)

# 調査方法

## ■聞き取り調査

- ・2006年8月～2007年1月の間に3回実施
  - ・ステップアップゼミの関係者4名を対象とする
  - ・1回に1時間～4時間, 1人あたり1時間20分～7時間40分
- ※なお、補足としてメールによる調査を5回実施した。

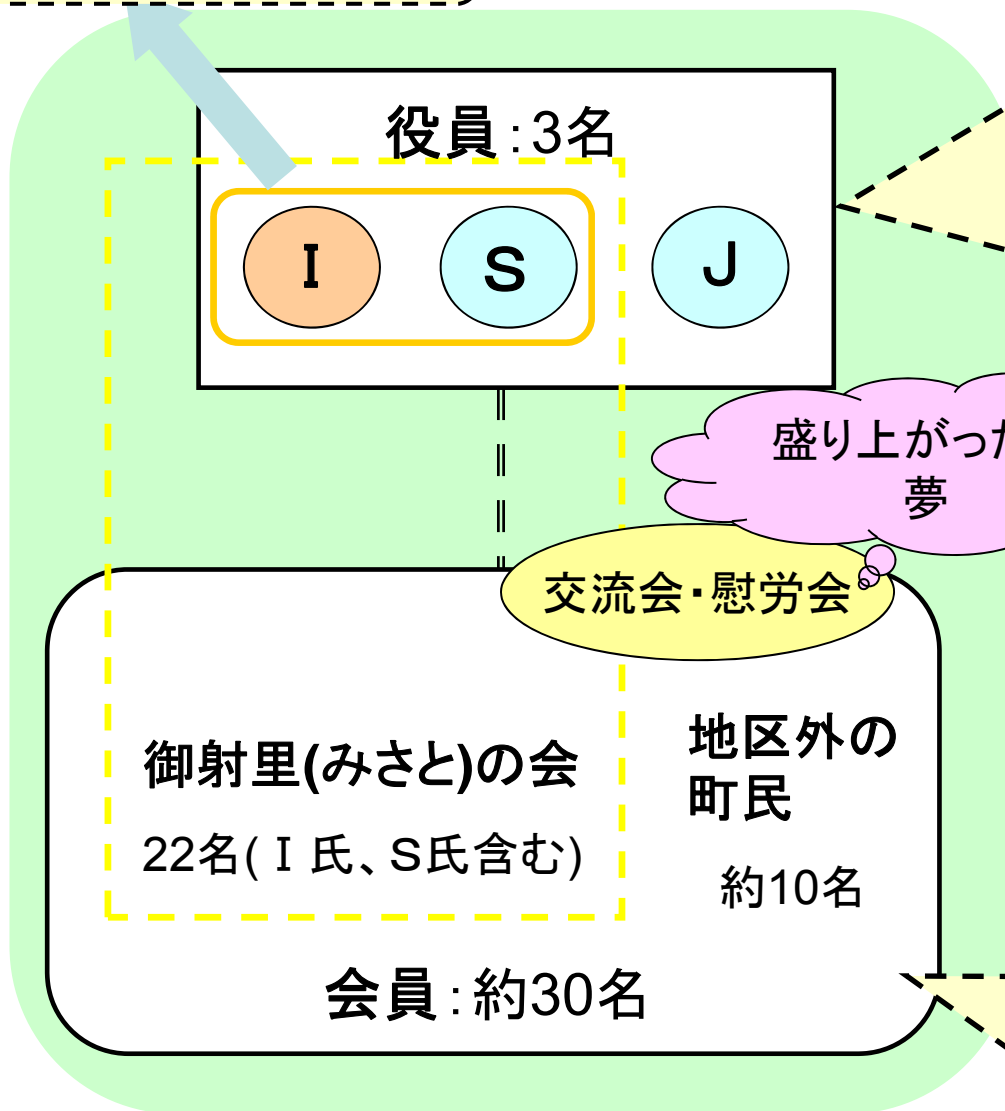
聞き取り調査	名前	主な属性	調査回数
	I氏	ステップアップゼミ代表者	4回(7時間40分)、メール5回
	S氏	ステップアップゼミ会計	1回(1時間20分)
	K氏	ステップアップゼミ会員, 役場職員	2回(5時間30分)
	J氏	ステップアップゼミ会員	1回(2時間15分)

## ■文献調査

- ・代表者 I 氏のホームページ、助成金申請書、ステップアップゼミ規約、新しいまちづくり係ホームページ など

# ステップアップゼミの組織・運営体制

計画・助成金申請



緩やかに結合した  
ネットワーク組織

## 区との関わり

- ・個人的な支援協力  
区長等が御射里の会に加入等
- ・会員を介した既存の集落内組織への活動提案

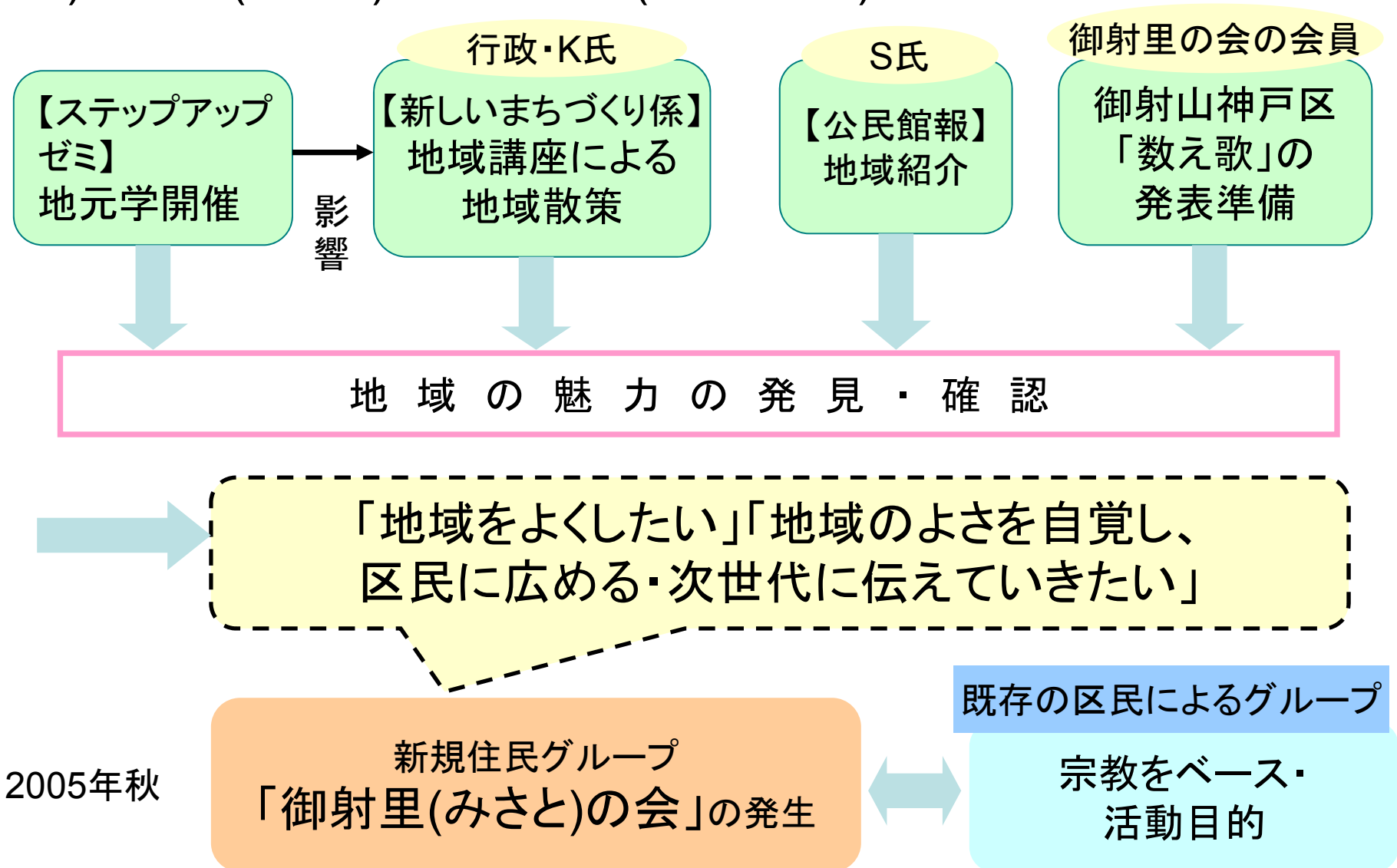
## 行政との関わり

- ・直接支援なし
- ・協働・職員研修の提案  
→ 対等な関係



# ステップアップゼミの地域における成果①

例)御射里(みさと)の会の発生(2005年秋)



## ステップアップゼミの地域における成果②

<活動事例>

地元学調査  
(2004年～)

地域づくり意識醸成のきっかけ提供(区内・区外)

新規グループの発生のきっかけ提供

収穫祭  
(2004年)

子ども会育成会  
主催で実施  
(2005年～)

企画から協力  
既進行事の  
きっかけづくり

耕作放棄地の整備  
(2006年～)

ビオトープ・牧場  
の造成

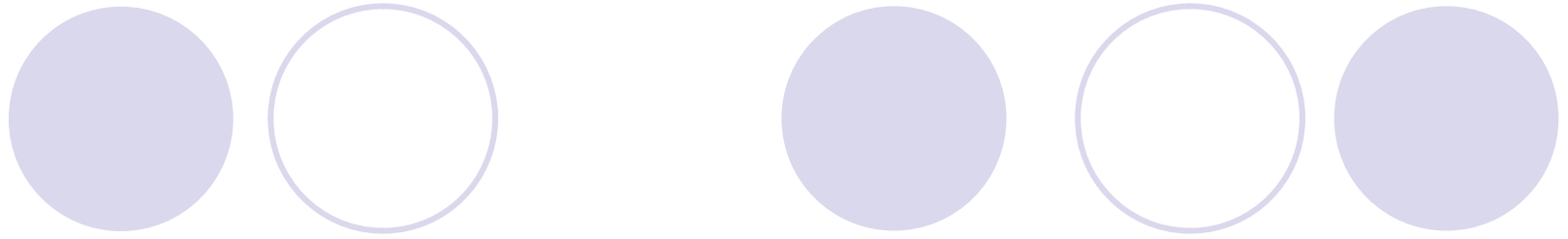
既存の集落内  
組織では対応

和紙の花づくり  
(2003年～)

子ども会育成会  
主催で実施  
(2005年～)

活動資金  
説明  
できなかった  
課題への対応

他主体・他組織への支援



# 「新規設立組織」について

# 調査対象「新規設立組織」

## むらづくり委員会(1990年6月～)

### 設立背景と目的

甲良町  
集落計画策定・  
地域づくり推進主体  
の設置よびかけ

北落集落  
むらづくり委員会  
(公式)

・主に住環境整備活動等(ハード、ソフトどちらも)

### 活動範囲

## 滋賀県甲良町北落集落

	人口	世帯数
甲良町	8,379人	2,635世帯
北落集落	381人	101世帯

(2005年現在)



- ・第二種兼業・平地農業地域(水稻中心)
- ・都市近郊地域

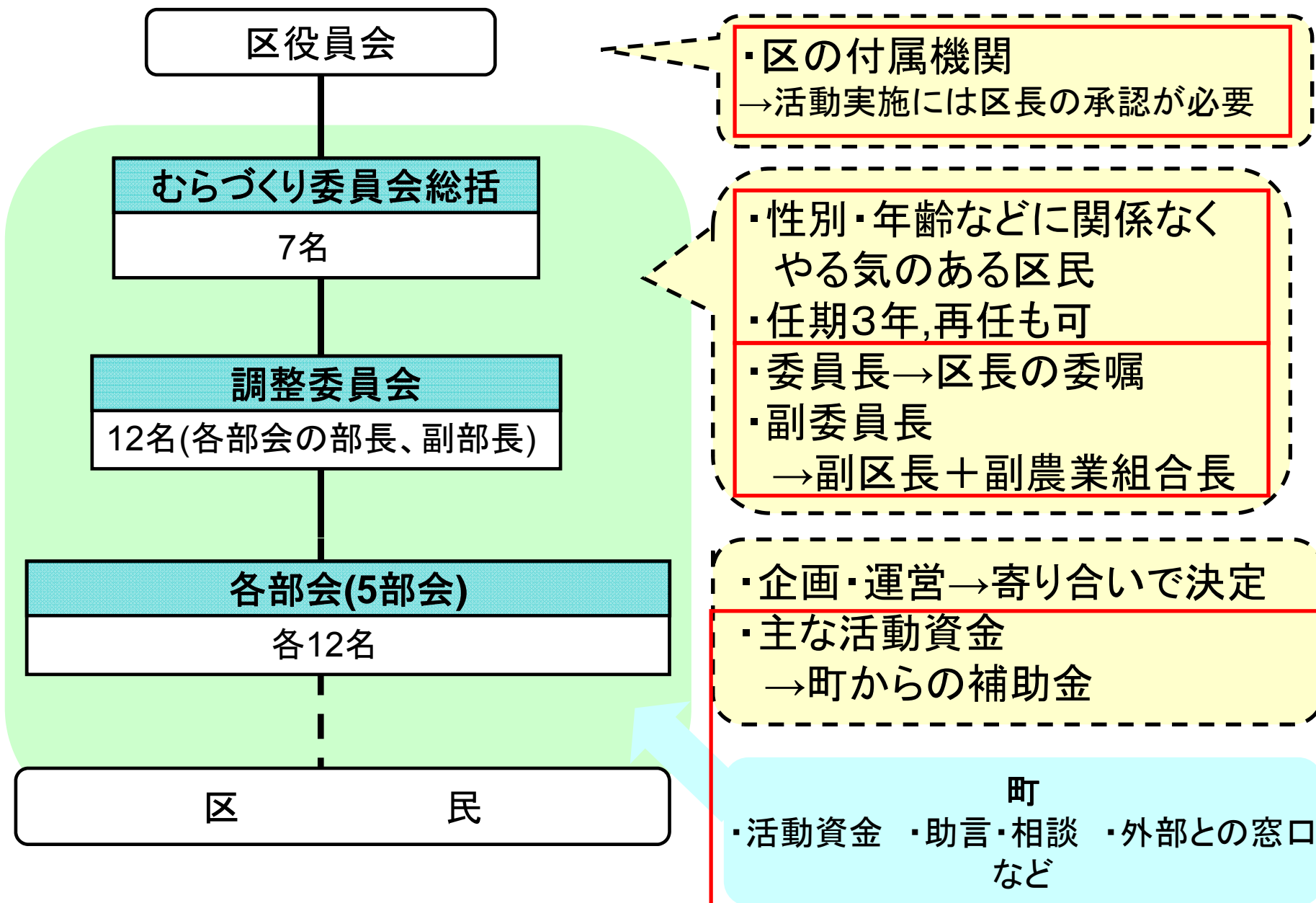
# 調査方法

## ■文献調査

以下の文献を整理した。なお、2005年11月に甲良町北落集落を訪れている。

	主な参考文献
中心資料	相澤牧子(1997): 滋賀県甲良町における住民参加型むらづくりの運営体制に関する実態分析, 平成8年度東京農工大学大学院農学研究科学位論文
	佐藤千恵(2001): 住民参加型地域づくりの成功要因についての研究—滋賀県甲良町を事例に—, 平成12年度東京農工大学大学院農学研究科学位論文
	乳深真美(2002): 住民主体の地域づくりにおける集落活動に関する基礎的研究—滋賀県甲良町北落集落を事例として—, 平成13年度東京農工大学大学院農学研究科学位論文
	乳深真美(2006): 農村地域における住民主体の地域づくりの継続性に関する研究, 平成18年度博士論文, 東京農工大学
その他資料	滋賀県甲良町北落区・北落むらづくり委員会(1998): 「人と田園との豊かな共生をめざして 北落—創意と工夫の郷づくり事業計画」, 甲良町(1999): 「第2次甲良町総合計画 1999年～2010年」, 北落集落むらづくり委員会組織図, せせらぎ夢現塾報告書(1994年～2000年※1996年欠損)など

# むらづくり委員会の組織・運営体制



# むらづくり委員会の地域における成果

<活動事例>

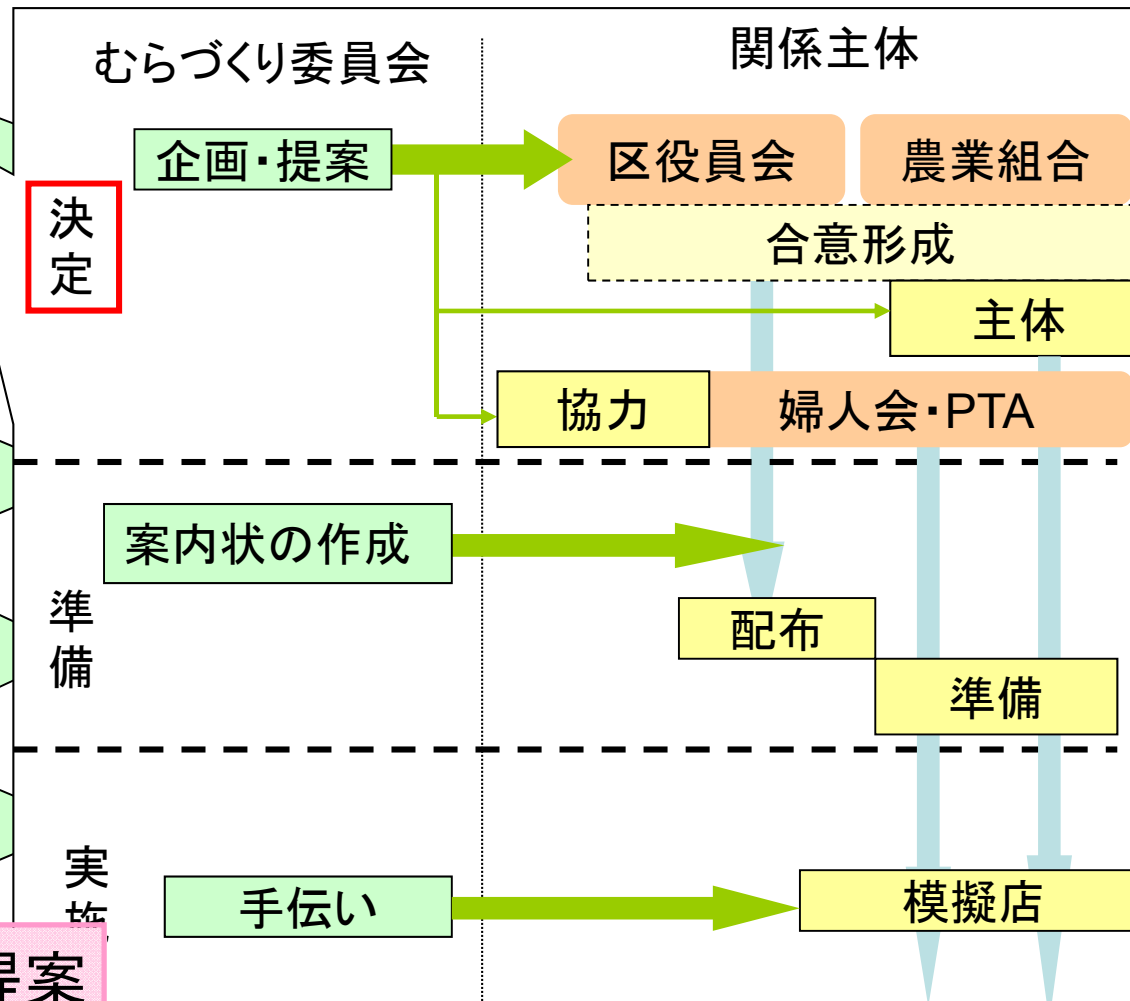
農業まつり  
(1995年～)

きらめき公園の竣工式  
(1999年)

柿木道の整備  
(1990年～1997年)

農村公園の造成  
(1990年～1998年)

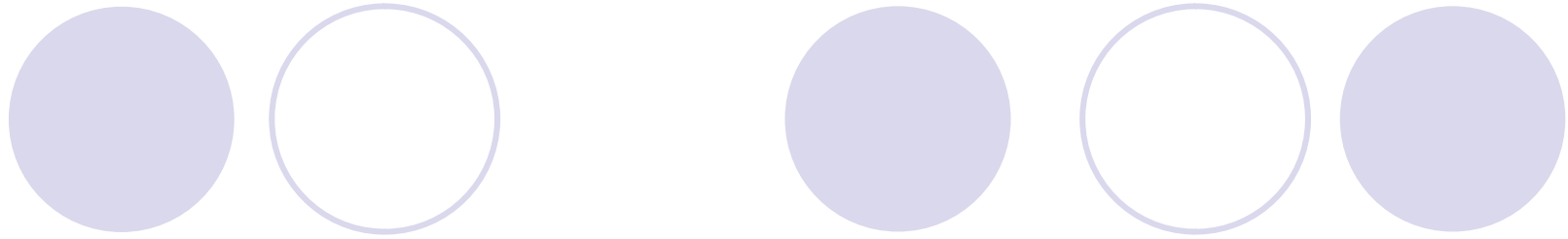
葬儀の仕方の見直し  
(1991,1992,1998年)



新規事業・活動の企画・提案

活動の実施・維持管理における既存の集落内組織のコーディネート

集落における行政・専門家・業者の連絡調整窓口



# 「住民グループ」と 「新規設立組織」の比較・検討



# 組織・運営体制の特徴

## ■共通点■

### ■参加・加入条件＝自主性が強い

- ・性別・年齢などにこだわらない、
- ・参加・加入は自主性に任されている
- ・実質任期がない

### ■活動内容・役割が広い

## ■相違点■

<ステップアップゼミ>

社会学にいう

インフォーマルな組織

<むらづくり委員会>

社会学にいう

フォーマルな組織

組織構造

区・行政との  
関係

# 住民グループの機能

## ■ 共通点 ■

---

- 既存の集落内組織では解決・対応が難しい問題への対処
- 新規行事・イベントの企画・提案、実施段階でのコーディネート



自由な発想・発想を実行に移すことが可能

### 【共通の特徴】

- ・参加・加入の自主性の強さ
- ・活動内容・役割の広さ

## ■ ステップアップゼミにのみ見られた機能

---

- 地域づくり意識の醸成および主体的な活動のきっかけの提供
- 集落外の主体・組織へのはたらきかけ
- 他主体・他組織への支援

# 住民グループの課題

## ■活動の継続に関する課題

インフォーマルな組織

### グループ存続に関する課題

- ・「年取ったら無理かもしれないし。いつまでできるかがちょっと課題。」(I氏)
- ・(Iさんが)「くたびれちゃったわ」って言えば、神戸の中での活動はあんまりできなくなってくと思います。(S氏)

企画・運営者の少なさ，後継者不在

### 活動資金に関する課題

「お金を取ることを考えてるけど、それがなくなりゃ、あまり動けないよね。」(I氏)

活動資金の安定的・継続的獲得は不確実

↑  
主な活動資金＝財団等からの助成金

# 研究の成果

## ■「住民グループ」と「新規設立組織」の実態および 成果・課題の把握

既存の集落内組織が機能している地域でも、新たな課題への対応・地域づくりを行っていくには新たな仕組みをもった新規組織が必要であることが分かった

## ■「住民グループ」と「新規設立組織」の組織・運営体制 および地域における機能の共通点・相違点の整理

インフォーマルな組織であっても、フォーマルな組織と同様  
あるいは異なった機能を持ちうるということが分かった

住民グループの機能も活かした地域づくりが求められると考えられる

## 研究の課題

### ■ 地域住民の「住民グループ」やその活動に対する意識の解明

← 課題解決の一方法として、住民によって活動が続けられることが重要であると考えた。

### ■ 多様な主体とのネットワーク構築に必要な要件



ご清聴ありがとうございました